

施設名	青梅市図書館(中央1館・分館9館)		
指定管理者名	TRC・オーエンス青梅グループ		
指定管理期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	担当課	社会教育課
設置目的	青梅市図書館を運営するため		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・協定書 ・年度協定書 ・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・業務の履行(清掃・点検等)に関しては、連携事業者と協力し、滞りなく実行した。 ・人員配置は中央・分館共協定書に沿う配置を行った。 ・業務に支障が及ぶ障害はなく、協定や事業計画通りに実施した。	A	施設について日常および定期清掃で清潔な状態に保ち、空調調節について室内温度を快適に保っている。人員配置は、協定等により定められた方法で予定と結果が報告され、司書率も協定等のおおりになっている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・期限が決められた提出資料は期限内に提出・報告を行った。	A	定められた期間での報告および連絡がされている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・協定書 ・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・ヒアリング	A	・管理区域内の安全性は常に確保するよう努めている。	A	管理区域内の整理が出来ており、安全性が確保されている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	・ヒアリング	A	・個人情報保護に関しては、個人情報の掲載された書類の管理は徹底している。 ・市への報告も適切に行っている。 ・社のPマーク研修を毎年実施している。	A	個人情報が記載されている書類は適正に仕分けがなされ、施錠できるキャビネットに保管されている。また、個人情報に関する研修を実施している。委員会への報告も適切になされている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	・ヒアリング	A	・業務日報や各種の業務実施報告書は年度別に作成、保管している。	A	業務等の記録は、施錠できるキャビネットに適正に保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	・危機管理マニュアル	A	・危機管理マニュアル(2022年版=)最新版に則り、運営体制を整えている。	A	災害時等の緊急時体制を記した危機管理マニュアルを整備し、スタッフが常に見ることができるよう事務室に設置している。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	・危機管理マニュアル ・連絡調整会議資料	A	・年に2回以上の消防訓練をタウンビルB全体で行い、特例認定の更新も無事承認された。	A	防災訓練(年2回)を実施していることを確認した。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	・連絡調整会議資料 ・事業報告書 ・ヒアリング	A	・備品等は適切に管理し、器具等の破損、紛失は発生していない。	A	備品等の破損は見られない。連絡調整会議等で、必要な報告がなされている。
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・事業計画書通りの運用を行い、計画した事業の開催をもれなく実施した。	S	事業計画に沿って、事業の運用、開催を実施している。 12/29に中央図書館年末閉館試行を実施し、利用者から好評を得ている。市町村図書館長協議会障がい者サービス研究会会長市の事務局の事務を市とともに取組んだ。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	・外部要因による規模縮小等もなく、事業計画通りの運用ができた。	A	事業計画どおり実施できている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	・利用者アンケート	A	・中央、分館9館の全ての館で年に一度利用者アンケートを実施している。常設のアンケート(自由意見)については随時受け付け、いずれも公表している。	A	中央1/18～1/19、分館1/22～1/28に利用者アンケートを実施し、結果を公表している。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	・利用者アンケート	A	・利用者アンケートの結果からは、利用者が9割以上の満足度を示している。	A	利用者アンケートの「総合的な満足度」(満足およびやや満足の合計)が、中央94%、分館94～100%であった。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	・連絡調整会議資料	A	・利用者アンケートや、常設アンケートでの意見には適宜対応している。	A	利用者アンケートや常設の投書等の意見を生かし、サービスの改善を図っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	・連絡調整会議資料	A	・市から依頼があった展示についてはその都度対応し、市の関連施設と連携した展示や行事も行った。	A	市立図書館の設置目的に沿った運営を行っている。図書館以外の市の事業への協力や、共催事業を企画し、実施している。
その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	・連絡調整会議資料	A	・提案事業については、計画通りに実施できた。	A	提案事業については、計画通りに実施できている。	

会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	・ヒアリング	A	・管理業務の会計に関する帳簿や書類の整備を実行し、保存は施錠できるキャビネットに管理している。	A	管理業務の会計に関する帳簿、書類は、施錠できるキャビネット内に保管し、適正に管理している。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	・ヒアリング	A	現金や施設の鍵等の貴重品に関しては、鍵のかかる金庫やキャビネットに適切に管理している。	A	現金や切手等は、施錠できるキャビネットや金庫で適正に保管している。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	・収支報告(青梅市図書館の事業報告)	A	赤字経営とはなっていない。	A	赤字ではないことを確認した。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	・第46期事業報告(図書館流通センター)	A	経常利益率はプラスで、赤字決算とはなっていない。	A	経常利益率はプラスになっていることを財務諸表から確認した。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	・第46期事業報告(図書館流通センター)	A	自己資本率は30%以上となっている。	A	自己資本比率が30%以上であることを財務諸表から確認した。
	流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	・第46期事業報告(図書館流通センター)	A	流動比率は100%以上となっている。	A	流動比率が100%以上であることを財務諸表から確認した。	

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	0	<p>記入欄</p> <p>・令和6年度年間の図書館実績数値をみると、登録者数は前年比7.2%の減少。貸出者数は同じく2.0%の減少。貸出冊数は同じく3.4%の減少。団体貸出しは一般・児童共に伸び、全体では同じく13.4%の増加。協力貸出しは同じく6.5%の減少となった。団体貸出しのみ増加したものの、全体としては前年度比減が多く、厳しい年度となった。</p> <p>・昨年度末に実施した、青梅市吉川英治記念館との連携行事は、展示等を充実させることで昨年度の倍以上の参加者があるなど、前年と比べると参加者の伸びが多く、行事で見られた。また、地元のボランティアグループと共催している隔月開催の読書会には、平均して20人が来場し、読書の楽しみを語る図書館ならではの催しとして定着してきた。今後も、幅広い世代が参加できる読書会として、市民の読書への関心を高めていきたい。</p> <p>・中央図書館スタッフが学校に出向いて行う「出張おはなし会」も令和5年度の61回から令和6年度は72回に伸びるなど、2割近い回数増加を示した。また、図書館から学校に派遣する学校司書の活動も、全校に対して8年間継続して実施しており、今後も学校図書館の利活用に貢献していく。</p>
A	21	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	1	<p>記入欄</p> <p>連絡調整会議を毎月実施できた。また、日頃からコミュニケーションがとれ、日常の意思疎通および情報共有ができています。</p> <p>人材育成に努め、職員の研修や教育(新人・接遇・危機管理・個人情報保護・学校司書研修等)を行い、能力向上に努めている。</p> <p>提出文書等について、期限内に提出できている。なお、その内容については更に正確性を求めたい。</p> <p>図書館資料の選書や廃棄について選書会議を必ず実施し、資料収集基準等にもとづき管理している。</p> <p>利用者意見を生かし、運営の改善をしている。</p> <p>図書館利用実績は、コロナ禍以前までの利用回復はしていないが、常に利用を高めるよう事業を開催している。開催事業内容について、図書館や市の方針を実現すべく柔軟に対応している。市からの提案である中央図書館年末開館試行実施について柔軟に対応し、6年度も開館でき、好評を得ている。また、市町村図書館長協議会障がい者サービス研究会会長市事務局の事務を市とともに取組み、実施している。</p>
A	20	
B	0	
C	0	